

令和2年10月16日

寺林優教授の令和2年度高松市文化奨励賞受賞が決定

本学の寺林優教授（博物館長、創造工学部教授）が、令和2年度高松市文化奨励賞（顕彰部門）を受賞することが決定し、10月14日（水）に高松市防災合同庁舎で記者発表がありました。

高松市文化奨励賞は、同市における文化の振興に貢献し、将来においてもさらにその活躍が期待される者を奨励することを目的に、昭和53年度に制定され、今年度で43回目となります。平成27年度からは、若手の活動にも着目した表彰制度に再編され、「顕彰部門」・「新人部門」の2部門で表彰することとなり、令和元年度までに90名が受賞され、その後も各分野の第一線で活躍されています。今年度は、顕彰部門で寺林教授の他1名が受賞されました。

贈呈式は、11月2日（月）午後3時から、高松市役所13階第会議室で開催されます。

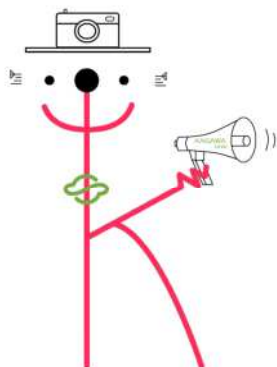
【受賞理由】

2006年から現在にかけて、四国初の大学博物館である香川大学博物館の設置・開館・運営において、中心的な役割を果たしてきた。同館は、その所在地である高松市を中心に、地域密着型の博物館として、毎年2回の企画展および不定期の特別展を計38回開催し、関連行事としてミュージアム・レクチャー、特別講演会、トークイベント等を多数開催してきた。自然科学系の展示ならびに活動は、科学技術分野の文部科学大臣表彰（理解増進部門）を2度も受賞しているように極めて高く評価されている。

文化芸術分野では、文学、音楽、美術、写真、映像、書道、演劇、舞踊、建築、デザインその他の芸術、生活文化ならびに文化財、伝統文化などの文化芸術などに係る企画展および特別展をこれまでに20回開催し、地域の方々に文化芸術に触れる機会を提供してきた。

これらの活動は、受賞者のリーダーシップのもとで、香川大学内だけでなく、学外の機関・団体・個人との連携および協同が実現した成果であり、今後もその継続と発展が期待できる。

高松市こども未来館および高松市歴史資料館等の運営にも多大な貢献をしている。



➤ お問い合わせ先

寺林 優（博物館長、創造工学部教授）

TEL：087-864-2156

E-mail：terabayashi.masaru@kagawa-u.ac.jp

香川大学博物館

TEL：087-832-1300

E-mail：museum@kagawa-u.ac.jp